

NSG
GROUP



NSG グループ

2013年3月期通期決算報告

(2012年4月1日～2013年3月31日)

日本板硝子株式会社
2013年5月16日

吉川 恵治

代表執行役社長兼CEO

クレメンス・ミラー

代表執行役副社長兼COO

マーク・ライオンズ

代表執行役CFO

アジェンダ

要点

決算概要

2014年3月期通期業績見通し

リファイナンス進捗

事業状況

リストラクチャリング施策の進捗

まとめ

要点：2012年4月-2013年3月



- 年間業績としては前年比で市場の低迷を反映
- 引き続き厳しい市場環境だが、いくつかの地域で改善の兆しあり
- 収益改善施策は目標を上回るペースで進捗
 - 一年を通して着実に収益改善
- キャッシュフローが大きく改善
- 引き続き収益力回復に注力

2013年3月期通期決算報告
(2012年4月1日～2013年3月31日)



アジェンダ

要点

決算概要

2014年3月期通期業績見通し

リファイナンス進捗

事業状況

リストラクチャリング施策の進捗

まとめ

連結損益計算書



(億円)	13年3月期 通期	12年3月期 通期	前年比
売上高	5,213	5,522	-6%
無形資産償却と個別開示項目前営業利益	90	149	
償却費*	(70)	(72)	
個別開示項目前営業利益	20	77	
個別開示項目	(192)	(33)	
営業利益(損失)	(172)	44	
金融費用(純額)	(141)	(143)	
持分法による投資利益	23	51	
税引前損失	(290)	(48)	
当期損失	(319)	(17)	
親会社の所有者に帰属する当期損失	(328)	(28)	
EBITDA	375	464	-19%

*ピルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

厳しい市場環境が引き続き業績に影響

2013年5月16日 | 2013年3月期通期決算報告

7

グループ売上は5,213億円で、前年比6%の減収となりました。主要市場における厳しい市場環境を反映し、利益も前年を下回りました。

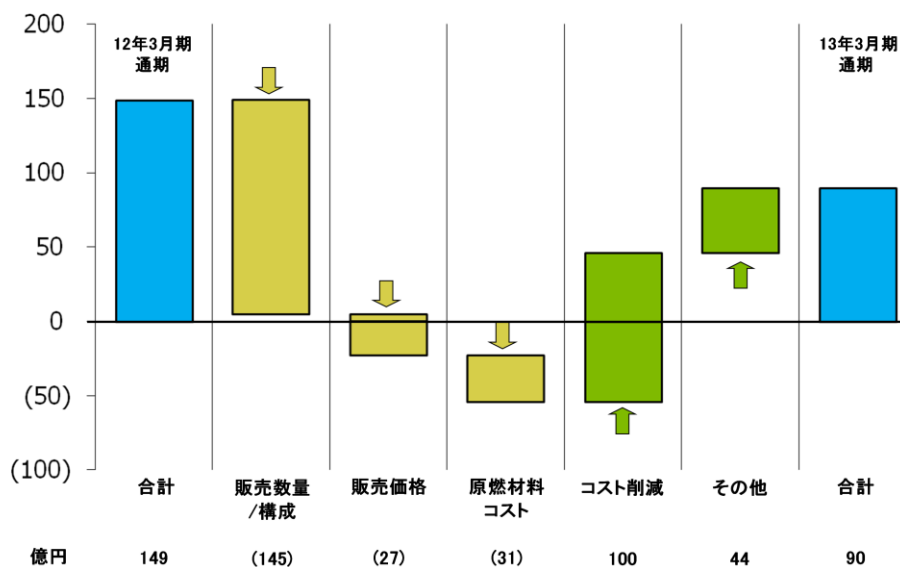
通期の営業利益は概ね業績見通しに沿ったものとなり、期を通して四半期ごとに漸次的に改善しました。

個別開示項目および金融費用後の当期損益は、328億円の損失となりました。

個別開示項目前営業利益差異分析

(無形資産償却前)

NSG
GROUP



リストラクチャリングの効果は市場環境の悪化により一部相殺

2013年5月16日 | 2013年3月期通期決算報告

8

販売数量は低調に推移し、特に当社グループ売上高の大きな部分を占める欧州において、その傾向は顕著でした。

欧州では乗用車販売台数が過去15年で最低水準に落ちこんだことに伴い、自動車用ガラスの販売数量も減少しました。

販売価格は、平均すると前年の水準を下回りました。建築用ガラスの価格は第4四半期において安定しましたが、依然として歴史的な低水準で推移しました。

リストラクチャリング諸施策の促進により、当事業年度において100億円の改善効果を上げることができました。

これは当初想定していた年間50億円の改善効果を大幅に上回っています。

個別開示項目



	13年3月期 通期 (億円)	12年3月期 通期 (億円)
リストラチャリング費用(休止費用を含む)	(227)	(28)
有形固定資産等の減損損失	(91)	(21)
子会社における年金負債の減少益	56	43
関連会社の売却による利益	53	-
その他	17	(27)
	<u>(192)</u>	<u>(33)</u>

- リストラチャリング費用 : 2013年3月末までに計3,000人を削減
- 減損損失の大部分はイタリア(ベニス)とスウェーデン(ハムスタッド)のフロート資産
- 年金負債を軽減
- FMCワイオミング社株式を売却

リストラチャリングは目標に向けて進捗中

2013年5月16日 | 2013年3月期通期決算報告

連結キャッシュフロー



	13年3月期 通期 (億円)	12年3月期 通期 (億円)
当期損失	(319)	(17)
減価償却費	366	387
運転資本の増減	217	(200)
法人所得税支払額	(60)	(55)
その他	(62)	(214)
営業活動によるキャッシュフロー	142	(99)
固定資産の取得	(256)	(279)
その他	186	16
投資活動によるキャッシュフロー	(70)	(263)
フリーキャッシュフロー	72	(362)

キャッシュフローが大きく改善

2013年5月16日 | 2013年3月期通期決算報告

10

キャッシュ創出に注力した結果、当事業年度におけるフリーキャッシュフローは72億円のプラスとなりました。

運転資本の改善には特に力を入れて取り組んでまいりました。第4四半期においても運転資本の削減が進み、引き続きキャッシュポジティブとなりました。

設備投資は引き続き、減価償却費を下回る水準に抑えています。

主要財務指標 (KPI)



	<u>2013年3月末</u>	<u>2012年3月末</u>
ネット借入(億円)	3,608	3,512
ネット借入/EBITDA	9.6x	7.6x
ネット借入/純資産比率	2.3	2.0
	<u>13年3月期</u>	<u>12年3月期</u>
	<u>通期</u>	<u>通期</u>
EBITDA/インタレスト・カバレッジ	2.7x	3.2x
営業利益率*	1.7%	2.7%

*ピルキントン無形資産償却と個別開示項目前営業利益

厳しい市場環境を反映した主要財務指標 (KPI)

2013年5月16日 | 2013年3月期通期決算報告

11

ネット借入(円換算)は前年比で増加いたしました。主な要因は円安が進行したためです。

ただし、やはり円安の進行を理由に、自己資本(為替換算調整額)は改善しておりません。

ネット借入/EBITDA比率は、主としてEBITDAが低水準だったことにより前年比で悪化しました。

しかしながら、収益性が徐々に回復したことに伴い第4四半期において改善しており、次の事業年度においてもこの改善傾向は続く見込みです。

2013年3月期通期決算報告
(2012年4月1日～2013年3月31日)



アジェンダ

要点

決算概要

2014年3月期通期業績見通し

リファイナンス進捗

事業状況

リストラクチャリング施策の進捗

まとめ

2014年3月期通期業績予想



(億円)	2014年3月期 見通し	2013年3月期 実績
売上高	6,000	5,213
無形資産償却と個別開示項目前営業利益	220	90
償却費*	(80)	(70)
個別開示項目前営業利益	140	20
個別開示項目	(110)	(192)
営業利益(損失)	30	(172)
金融費用(純額)	(200)	(141)
持分法による投資利益	20	23
税引前損失	(150)	(290)
当期損失	(200)	(319)
親会社の所有者に帰属する当期損失	(210)	(328)

*ピルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

今期はリストラチャリング施策の効果が増加

2013年5月16日 | 2013年3月期通期決算報告

13

グループ売上高は、為替換算の影響により円ベースで6000億円に増加する見通しです。主要市場における市場環境の大幅な改善は想定していません。

無形資産償却・個別開示項目前営業利益は、リストラチャリング諸施策による効果がさらに見込まれることから、前年度より改善する見通しです。

2014年3月期においてもリストラチャリング諸施策を引き続き実行してまいります。が、主要な施策のかなりの部分はすでに完了しているため、リストラチャリング費用は前年度より減少する見込みです。

金融費用は、IFRSにおける退職給付会計基準(IAS19)の改定に伴い増加します。

2013年3月期通期決算報告
(2012年4月1日～2013年3月31日)



アジェンダ

要点

決算概要

2014年3月期通期業績見通し

リファイナンス進捗

事業状況

リストラクチャリング施策の進捗

まとめ

リファイナンス進捗



2013年3月28日に発表のとおり、リファイナンスは以下のとおり進捗

- シンジケートローン満額700億円を契約締結
- 複数金融機関との個別借入契約により、既に90億円の資金を確保
- 新規コミットメントライン契約250億円を設定
- 今後の資金調達については協議を継続中。決まり次第発表予定

2013年3月期通期決算報告
(2012年4月1日～2013年3月31日)



アジェンダ

要点

決算概要

2014年3月期通期業績見通し

リファイナンス進捗

事業状況

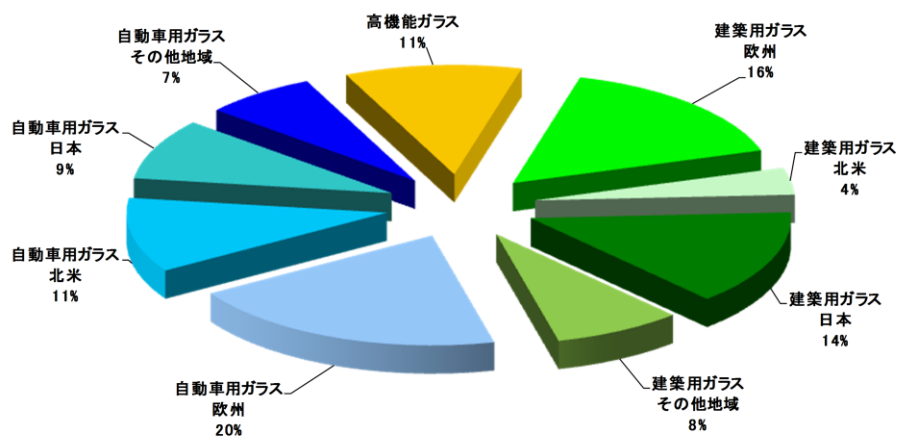
リストラクチャリング施策の進捗

まとめ

事業別売上高

NSG
GROUP

5,213億円



2013年3月期
(2012年4月 - 2013年3月)

2013年5月16日 | 2013年3月期通期決算報告

17

グループの事業別売上高を示したものです。

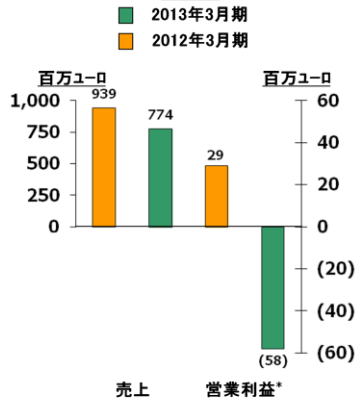
地域別には欧州が連結売上高全体の約40%、日本が30%、北米が15%、その他地域が15%を占めます。

建築用ガラス事業

2012年3月期通期との比較

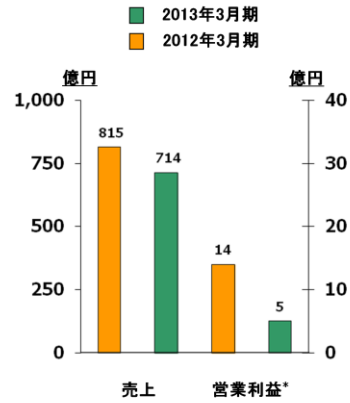


欧州



- 数量および価格は前年度の水準を下回る
- ソーラーの出荷が前年度に比べ減少
- 供給能力削減により当第4四半期は収益性改善

日本



- 国内建築需要は改善
- ソーラーの出荷減少

*個別開示項目前営業利益

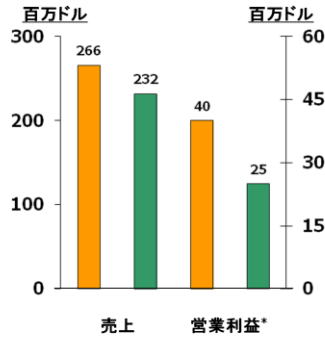
建築用ガラス事業

2012年3月期通期との比較



北米

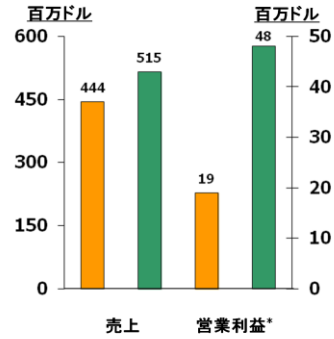
■ 2013年3月期
■ 2012年3月期



- 住宅用建築需要は回復
- ソーラーの出荷が前年度に比べ減少

その他地域**

■ 2013年3月期
■ 2012年3月期



- ベトナムでのソーラー用ガラス生産が今年度フルに寄与し増収増益
- 南米事業の数量は前年並み
- 東南アジアは当第4四半期に改善

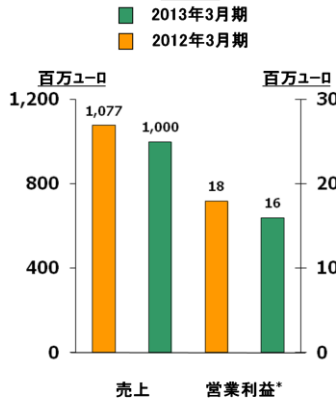
*個別開示項目前営業利益

**その他地域は、アルゼンチン、チリ、中国、マレーシアおよびベトナム

自動車用ガラス事業 2012年3月期通期との比較

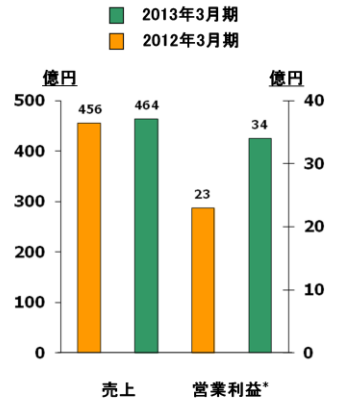


欧州



- 需要減少により新車用ガラスは減収減益
- 補修用ガラスの実績は前年並み
- 生産能力削減およびコスト改善進捗中

日本



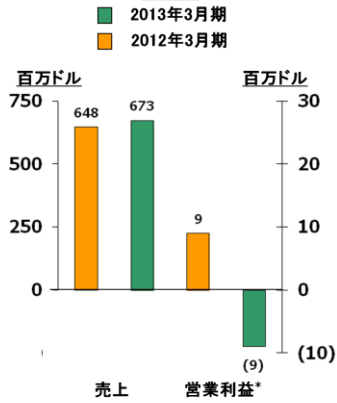
- 前年度は震災が影響
- 前年度下期から需要が回復し、本年度は安定的
- 受注安定化により収益性改善

*個別開示項目前営業利益

自動車用ガラス事業 2012年3月期通期との比較

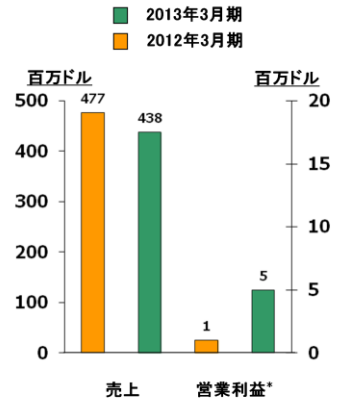


北米



- 数量増加により増収
- 収益性は依然として低調

その他地域**



- 市場環境が改善
- 収益性は引き続き低調

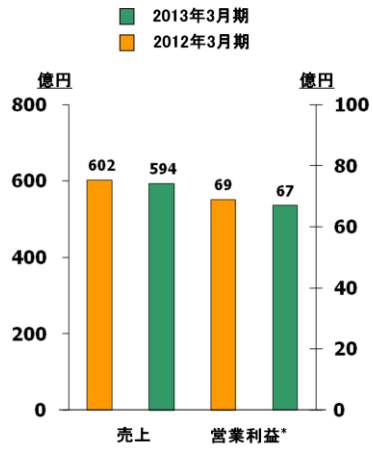
*個別開示項目前営業利益

**その他地域は、ブラジル、アルゼンチン、マレーシアおよび中国

高機能ガラス事業 2012年3月期通期との比較



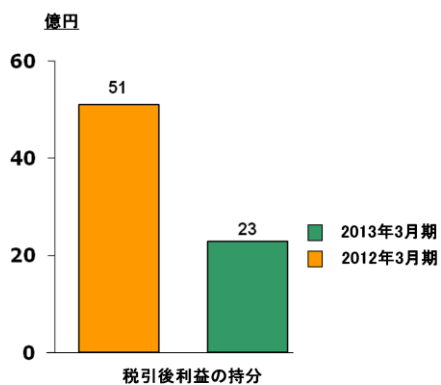
- スマートフォンやタブレットPCの消費者需要は旺盛
- エンジンタイミングベルト用ガラスコードは、欧州の自動車業界の状況に沿って軟化
- オフィス用プリンター市場は需要減速



*個別開示項目前営業利益

持分法適用会社

- 需要減および価格低下によりセブラセの利益は低下
- 中国の持分法適用会社は減益
- ロシアの損益は前年と同様の水準



2013年3月期通期決算報告
(2012年4月1日～2013年3月31日)



アジェンダ

- 要点
- 決算概要
- 2014年3月期通期業績見通し
- リファイナンス進捗
- 事業状況
- リストラクチャリング施策の進捗
- まとめ

リストラクチャリング施策の進捗(1)



生産能力削減

- 需要に合わせた生産能力適正化
 - イタリアとスウェーデンでフロートガラス製造ライン2基を閉鎖
 - ドイツとイギリスでフロートガラス製造ライン2基を停止中
 - スウェーデンとフィンランドで自動車用ガラス加工拠点を2014年3月期に閉鎖完了する旨の提案を発表
 - 欧州地域の建築用ガラス川下加工拠点8箇所を閉鎖実施もしくは閉鎖協議中

欧州で大きく能力を削減

2013年5月16日 | 2013年3月期通期決算報告

25

リストラクチャリング施策の進捗(2)



間接費用削減

- 欧州のサポート部門をポーランドに集約
- イギリスと日本を中心に、間接部門を削減
- 全地域を対象に工場間接費用を削減

人員削減

- 2013年3月末までに計3,000人を削減

間接費用を大幅に削減

2013年5月16日 | 2013年3月期通期決算報告

26

リストラクチャリング施策の進捗(3)



キャッシュ改善施策

- 運転資金が大幅に改善
- 設備投資は有形資産減価償却費内を維持
- ノンコア資産の選択的売却を**2013年3月期**に実施
 - **2013年3月にFMC ワイオミング社株式**を売却
 - **その他金融資産**を売却

キャッシュ創出を重視

2013年5月16日 | 2013年3月期通期決算報告

27

リストラクチャリング施策の進捗(4)

億円	FY12	FY13	FY14	FY15	累計
効果(FY12対比):					
従来 計画*	-	50	150	250	450
今回 計画	-	100	200	300	600
リストラクチャリング費用:					
従来 計画*	(30)	(110)	(110)	-	(250)
今回 計画	(30)	(180)	(90)	-	(300)
有形資産減損:					
従来 計画*	-	(70)	(20)	-	(90)
今回 計画	-	(90)	-	-	(90)

*2012年8月2日発表

リストラ効果は実績、見通しともに増加

2013年5月16日 | 2013年3月期通期決算報告

28

リストラクチャリング施策の効果について、当初の想定と、現時点での実績および見通しをまとめました。

リストラクチャリング施策の促進により、2013年3月期において100億円の改善効果を上げることができました。

これは当初想定していた年間50億円の改善効果を上回る結果です。

この年間改善効果は、2014年3月期および2015年4月期においても、継続して発現するものと見込んでいます。

リストラクチャリング施策を加速し、追加的に生産能力の削減を行ったため、2013年3月期におけるリストラクチャリングに伴うキャッシュ費用および非キャッシュ費用である減損損失は、当初想定より増加しました。

2014年3月期 リストラクチャリング施策



2014年3月期施策

- 今年度もリストラクチャリング施策を継続して実施
 - 今期業績見通しは90億円のリストラクチャリング費用を含む
- 生産能力削減を継続
- 間接費用削減に注力
- 生産性改善施策を加速
- 必要に応じて追加の資産売却を実施

今年度もリストラクチャリング施策を実施

2013年5月16日 | 2013年3月期通期決算報告

29

アジェンダ

要点

決算概要

2014年3月期通期業績見通し

リファイナンス進捗

事業状況

リストラクチャリング施策の進捗

まとめ

まとめ



- 年間業績としては前年比で市場の低迷を反映
- 引き続き厳しい市場環境だが、いくつかの地域で改善の兆しあり
- 収益改善施策は目標を上回るペースで進捗
 - 一年を通して着実に収益改善
- キャッシュフローが大きく改善
- 引き続き収益力回復に注力
- 2014年3月期通期業績見通し**はリストラクチャリング効果の更なる発現を含む

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場（欧州、日本、北米、アジア等）の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

日本板硝子株式会社

補足資料

事業部門別・地域別売上高 (2012年4月1日～2013年3月31日)



(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計
建築用ガラス	714	824	192	427	2,157
自動車用ガラス	464	1,065	558	363	2,450
高機能ガラス	355	57	10	172	594
その他	11	1	0	0	12
合計	1,544	1,947	760	962	5,213

償却前 営業利益*
(2012年4月1日～2013年3月31日)



(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計	営業利益率
建築用ガラス	5	(62)	20	40	3	0%
自動車用ガラス	34	17	(7)	4	48	2%
高機能ガラス	52	7	2	6	67	11%
その他	(29)	(4)	5	0	(28)	
合計	62	(42)	20	50	90	2%
営業利益率	4%	-2%	3%	5%	2%	

*: 無形資産償却と個別開示項目前営業利益

償却後 営業利益*
(2012年4月1日～2013年3月31日)

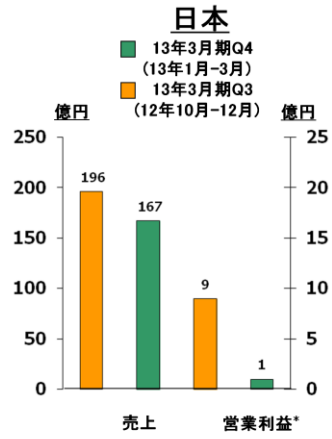
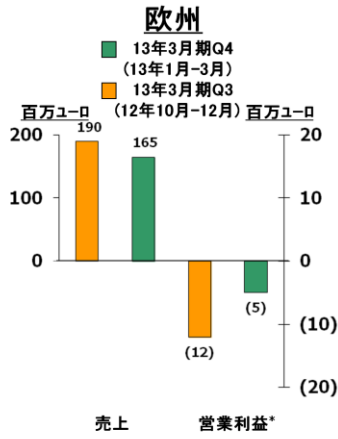


(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計	営業利益率
建築用ガラス	5	(62)	20	40	3	0%
自動車用ガラス	34	17	(7)	4	48	2%
高機能ガラス	52	7	2	6	67	11%
その他	(29)	(50)	(9)	(10)	(98)	
合計	62	(88)	6	40	20	0%
営業利益率	4%	-5%	1%	4%	0%	

*: 個別開示項目前営業利益

建築用ガラス事業

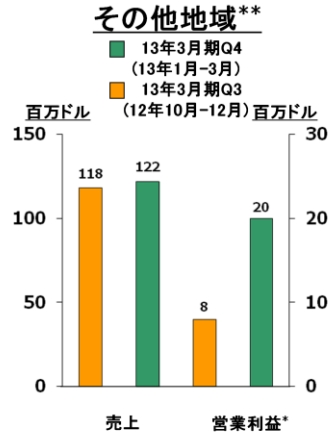
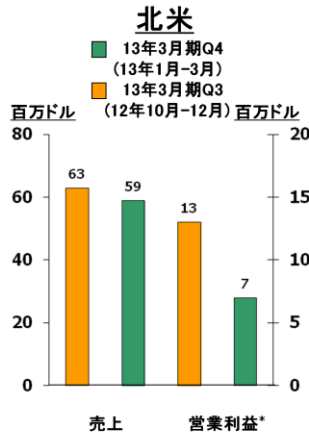
2013年3月期第3四半期との比較



*: 個別開示項目前営業利益

建築用ガラス事業

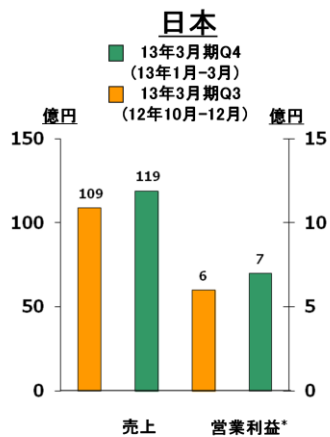
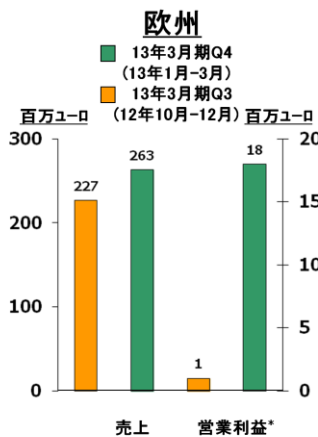
2013年3月期第3四半期との比較



*: 個別開示項目前営業利益
 **: その他地域は、アルゼンチン、チリ、中国、マレーシアおよびベトナム

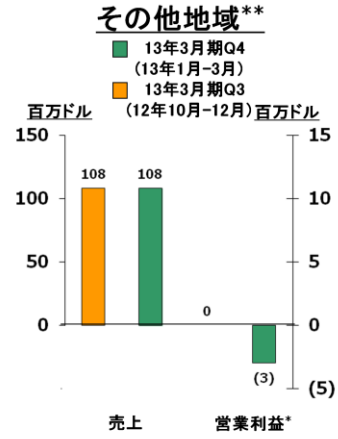
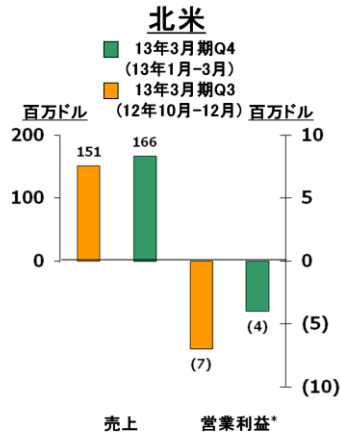
自動車用ガラス事業

2013年3月期第3四半期との比較



*: 個別開示項目前営業利益

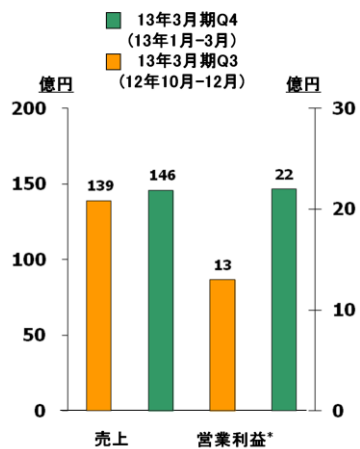
自動車用ガラス事業 2013年3月期第3四半期との比較



*: 個別開示項目前営業利益

** : その他地域は、ブラジル、アルゼンチン、マレーシアおよび中国

高機能ガラス事業 2013年3月期第3四半期との比較



*: 個別開示項目前営業利益

為替レート



	2012年3期 通期	2013年3月期 通期	2014年3月期 通期予想
期中平均為替レート:			
円/英ポンド	126	131	150
円/ユーロ	109	107	130
円/米ドル	79	83	100
期末為替レート:			
円/英ポンド	131	141	
円/ユーロ	109	119	
円/米ドル	82	93	

NSG
GROUP